

予算等審査特別委員会  
の審査から

# 市民のお金

どのように使う？  
どのようにいやす？

## 総括質疑



岸田 功典 委員長



森 喜彦 副委員長

8年度予算案は、本会議で予算等審査特別委員会（岸田功典委員長、森喜彦副委員長）に付託され、全体会議と分科会において慎重に審査しました。

ここでは、3月5日から4日間の全体会議で行った総括質疑の主な質疑と答弁の要旨を掲載しています。

事業総点検の結果を踏まえ、八王子未来デザイン2040の実現に向け、予算化する。

**問** 市長就任後、連続して過去最大規模の予算編成となっている状況について、どのように捉えているのか。

**答** 扶助費を中心とした社会保障関係費に加え、老朽化した公共施設への対応経費が増加していることが主な原因であると認識している。将来世代に過度な負担を先送りしないための財政規律を守り、財政の健全性を堅持しつつ、「すべての人が輝き、やすらげる街」の実現を目指していく。

**問** 予算編成方針では、コスト意識を持ってゼロベースの視点から事業の見直しを検討し、費用対効果に見合わない事業等は廃止、または再構築を図ることが示されているが、どのような手法で見直しを行ったのか。

**答** すべての事務事業について、目的に立ち返り、クロスSWOT分析※等を用いた点検を実施した。その結果、既に目的を達成した事業等は、廃止・縮小等の見直しを行った。

**問** 8年度には後期経営計画の策定が始まるが、現行の経営計画における取り組みについて

### 八王子未来デザイン2040の実現に向け 後期経営計画の策定を

の評価を聞きたい。

**答** 施策の効果・効率的な展開や経営資源の確保に成果があったと捉えている。7年度の事業総点検を踏まえ、8年度予算では、新たな行政課題への対応に必要な業務量や、業務内容に応じた人員の配置状況を明確にするなど、改善に努めた。

**問** 現行の経営計画の取り組みや物価高騰などの社会情勢を踏まえ、後期経営計画をどのように策定していくのか。

**答** 社会情勢の不確実性が高まる中、持続可能な行財政運営を推進するため、限られた経営資源、特に人的資源を最大限活用することが重要であると考えている。八王子未来デザイン2040の施策効果を確実に生み出す事業を推進し、経営資源を計画的・安定的に確保するための行程を示していく。



八王子未来デザイン2040の実現に向けた行動計画である経営計画

行政サービスを安定的かつ持続的に提供するため、内部統制を推進するほか、サービス監察を実施する。

### リスク管理体制の整備で 適正な業務執行を



業務上のリスク等を調査し、職員が安心して意欲を持って働ける職場環境を

**問** 内部統制推進のため、管理職を含めて職員を5人増やすとのことだが、新たな体制での事務の内容は。

**答** これまでは、契約や会計等の財務に関するリスクの洗い出しや対応策を実施してきた。今後は、不正などの労務に関するリスクや、事務処理の誤りなどの業務に関するリスクに対象を広げるとともに、職員向け研修等による公務員倫理の醸成などの取り組みを考えている。

**問** 内部統制推進のほか、サービス監察を行うとのことだが、どのように実施するのか。

**答** 職員の業務上の事故を未然に防ぐため、服務状況や事務処理プロセスが法令・規則に則っているかを事前に調査することを想定している。サービス監察は、職員を監視するものではなく、組織横断的かつ継続的にリスクを回避し、職員が安心して意欲を持って働ける職場環境を整備するために行うものと考えている。

※経営戦略や事業計画を立てるための現状分析を行い、明らかになった4つの要素（強み、弱み、機会、脅威）を組み合わせ、戦略を考える方法